

愛宕東小 CS だより

「愛宕東小学校」コミュニティ・スクールは、愛宕中学校区の子どもたちの「9年間で目指す姿～学び・心・体～」という目標を一つに、学校・家庭・地域が連携し、ともに学び、ともに育てる取組です。

第1号 令和3年9月24日(金)発行

令和元年2月、愛宕東小学校は、愛宕中学校区コミュニティ・スクールとして、「愛宕東小学校学校運営協議会」を設置しました。

《コミュニティ・スクールとは》

すべては子どもたちのために…を合い言葉に、保護者の皆様、地域の皆様、そして学校が一体となって小中9年間の子どもたちの育ちを支えるため、さらに、子どもたちが安心して学ぶことができるようにと、保護者・地域の方々の「知恵」「知識」「技術」などをお借りして、子どもたちの育ちを考えていきます。

保護者・地域の方が、ボランティアを通じた活動に参加することにより、学校のことがより分かり、教員と保護者と地域が、より知り合い、よりよい学校となり、子どもたちのよりよい育みを得られます。こうしたことにより、すてきな愛宕中学校区・愛宕東小学校ができることを願います。

ご理解とご協力をお願いいたします。

《令和3年3月～令和4年3月 愛宕東小学校学校運営協議会体制》

会長	五十嵐 欣也	(愛宕さつき町内会会長)
副会長	千葉 忠男	(愛宕新川地区自治連合会)
PTA 代表	千葉 信吾	(愛宕東小学校 PTA 会長)
地域代表	小野 雅巳	(のなか認定こども園長)
学校代表	山川 美千代	(愛宕東小学校長)
学校(事務局)	太田 健	(愛宕東小学校教頭)
	中村 正樹	(愛宕東小学校主幹教諭)
学校支援部	岡野 暁	(愛宕東小学校教諭)
	池田 謙治	(愛宕東小学校教諭)
	八島 徹	(愛宕東小学校教諭)
	加藤 真実	(愛宕東小学校栄養教諭)

☆「学校支援部」とは、愛宕東小学校の行事や学習の中で地域・保護者の皆様の「支援」を要する教育活動について話し合い、年間計画を立てていきます。

《愛宕東小学校 学校運営協議会年間計画》

- ☆学校運営協議会の開催 年間4回予定
- ☆年間の内容 学校経営方針の承認・組織体制づくり・活動の方向性 等

「愛宕東小学校」コミュニティ・スクール(CS)

【第1回 愛宕東小学校学校運営協議会】

- 開催日 令和3年3月9日(火) 18:30~19:15
 - ・令和3年度学校経営方針についての説明・承認
 - ・令和3年度教育活動における支援について:街頭指導ボランティアの実施

【第2回 愛宕東小学校学校運営協議会】

- 開催日 令和3年7月6日(火),8日(木) 13:30~15:00
 - ・教育活動の様子視察(授業参観)
 - ・経営方針にかかわる中間反省:授業を含む児童の様子から
 - ・組織体制について

《話し合いから ~抜粋~》

- それぞれの学級が落ち着いて授業に向かっている。授業では、意見がつながっていく場面に成長を感じた。
- 参観日に多数の保護者が出席している。子どもたちの学校での様子を見ることができるところの重要性を感じた。
- 久しぶりに小学校の授業を見ることができ、嬉しかった。
- 1年生から6年生までの授業の様子から、その成長の違いを感じることができた。
- 複数学年でタブレットを活用した授業を行っていた。新たな「学びの姿」を保護者が直接参観することが大事だと感じた。
- 教室に多数扇風機を設置し、空気の循環を行うなどの配慮にも感心した。
- 校舎内の環境が整備されており、想像していたよりも涼しかった。子どもたちものびのびと授業を受けている。安心して子どもをあずけられる学校である。
- マスクを着用し、授業を受けている姿を見て偉い。
- 朝の街頭指導での子どもたちの挨拶がとてもよい。楽しく登校している様子も見られる。
- マスクの着用について、家庭との連携のもと、新しい生活様式にかかわる指導や学校と家庭で細やかな連携の配慮がなされているのではないかと感じた。子どもたちは順応して学校生活を楽しめているのではないかと感じた。
- 町内会で防犯パトロールをしている。今のところ午後8時以降に公園で遊んでいる子どもの姿は見かけない。夏季休業の指導をお願いしたい。
- 公園の水飲み場のパイプに砂が詰まっていることがあった。遊び方に関する再指導が必要。
- 感染防止対策として「マスク着用」。場合に応じて「マスクを外す」。ルールを遵守しつつ両立を目指す必要がある。

夏休み中、町内会の皆様が子どもたちの「安心・安全」を願い、ラジオ体操や花火大会など企画・開催してくださいました。町内会役員の方から「実施期間中、ラジオ体操に参加していた。」「年長者が年少者の面倒を見ていた。」などの嬉しい声をいただきました。一方では、「マスクを外して公園で大きな声を出している。」と指導を要する声もありました。

“家庭・地域とともによりよい東っ子を育む”ことから、子どもたちにぜひ、その場での「声かけ」をお願いいたします。校外における東っ子たちに声かけ後の様子を教えていただければと思います。

学校と家庭と地域が力を合わせ活動することで、それぞれの立場で主体的に東っ子たちの成長を支えていく学校づくり、地域づくりを進めていくことが、コミュニティ・スクールです。